



むなかた市議会だより

平成28年12月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

平成28年 12月定例会のあらまし

- 本定例会は、11月28日から12月16日までの19日間で開催されました。
 - 11月29日から12月2日までの4日間、17人の議員による一般質問が行われました。(2、3ページ参照)
 - 市長提案の議案21件は、12月5日から9日の間に行われた常任委員会および特別委員会での審議を経て、最終日の本会議で、すべて承認、可決しました。
 - 最終日の本会議で議員提案の意見書1件を可決しました。(4ページ参照)
- (主な議案の内容および議決結果については、1、4ページ参照)

新年、あけましておめでとーございます。



花田 鷹人 議長

市民のみなさまには、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心より喜び申し上げます。日ごろより、宗像市議会に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

選挙権年齢が18歳に引き下げられて初めての市議会議員選挙が昨年10月に行われ、新たな議員20人で市議会がスタートしました。11月に議長に就任し、初めての新年を迎え、その責任の重さを改めて感じるとともに、「市民のみなさまのためのまちづくり」になお一層の努力をしなければと決意を新たにしております。

さて、今年の夏には、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録可否が決まります。世界遺産登録を受けて、本市への来訪者が急増することが見込まれ、大勢のお客さまに、宗像市に気持ちよく来ていただくために、案内標識、駐車場、展示施設などの整備、また案内要員の確保・接遇研修など受け入れ体制の整備を急がなければなりません。

また、10月には天皇皇后両陛下をお迎えして開催される国民的行事の一つであります『全国豊かな海づくり大会』が本市で開催されます。この大会は、『式典行事』『放流・海上歓迎行事』『関連行事』が計画されており、これらの行事を通して、漁業を取り巻く環境に対する理解を深めてもらうと同時に、福岡の海や

賛成多数で可決

宗像市印鑑条例及び宗像市手数料条例の一部を改正

コンビニエンスストアで証明書の自動交付(コンビニ交付)を開始することに伴い、条例の一部を改正する案(市長提案)。

主な意見

マイナンバーカードの普及が進まないのは、

市民が個人情報の流出などを危惧していることが一つの要因である。委託業者なども含めて情報管理に留意し、普及に努めてほしい。

調査や対策を十分に行い、コンビニ交付のメリットを最大限に生かす方向で進めてほしい。

コンビニ交付で全国どこでも証明書を受け取れるようになるが、情報漏えいの危険性が高いので時期尚早と考える。

先行して交付を開始している自治体の状況などを調査し、システム的な安全を確認してからでも遅くない。

全員賛成で可決

うみんぐ大島の指定管理者は株式会社むなかた大島に決定

福岡県大島港大島海洋体験施設(うみんぐ大島)は、大島の活性化や観光・来島の促進を図ることを目的に、開設当初から、島民や漁協の出資で運営される株式会社むなかた大島を指定管理者として運営を行ってきた。

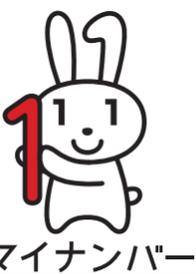
地域に根差した団体に管理運営を委ねることで事業効果が期待できること、また、開設から5年が経過して経営ノウハウが蓄積され、安定した経営ができること判断したことから、引き続き、株式会社むなかた大島を29年度から4年間の指定管理者として非公募で選定する案(市長提案)。

主な意見

地元と行政が協力し、オール大島でしっかりした事業を確立していただきたい。

季節や自然環境に影響される施設であるため、経営体制の構築を行い、将来的には、県へ委託の返還も考える必要がある。

リピーターの確保に努め、世界遺産登録に向け、宗像への来訪者の受け皿となるよう改革していただきたい。特産品の開発については、成功事例を持たれている方との情報交換などの機会を積極的につくっていただきたい。



マイナンバー



うみんぐ大島の釣堀

宗像市議会議員一同

公職選挙法では議員は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。市民のみなさまのご理解をお願いします。

平成28年12月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

平成28年11月29日から12月2日の4日間にわたって、17人の議員が合計30項目の質問を行いました。

- 質問を行った順に掲載しています。
- 掲載項目などは質問を行った議員が選択しています。
- 詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは2月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



公共施設の活用について
とびうおクラブ／安部 芳英

問 公園の維持管理費の確保、管理負担の軽減、利用者への愛着を感じてもらうために公園オーナー（※1）を募つてはどうか。

答 立地の違いで施設の状態に格差が生じる懸念があるが、維持管理費の節減に有効と考えるので、今後調査研究を行う。

問 消費者センターの外壁、赤間駅の自由通路の内壁を収入増加策に使えないか。

答 消費者センター周辺は、商業施設が立地する一等地なので、看板設置による収入増については、今後研究に着手する。

問 女性起業家支援として、メイトムのスマートフォンを貸し出して収入を得られないか。

答 現在、メイトムのスマートフォンに5つ空きスペースがあるので、女性起業家などの事業者に対してしっかりとPRしていきたい。



玄海地区の活性化に向けて
とびうおクラブ／北崎 正則

問 鐘崎臨海線をまちづくりに生かせないか。

答 海産物販売、朝市の充実、漁師料理の提供などを検討している。

問 さつき松原通行止め解除について市の考えは。

答 地元の意見を十分に踏まえながら、解除の協議を進めたい。

問 神湊・田島地区の賑わいづくりに、どのような環境整備が必要か。

答 来訪者に世界遺産にふさわしい景観や神秘的な空間を提供し、スムーズな誘導と丁寧な案内をすること。

問 織幡神社周辺にトイレ設置を検討できないか。

答 調査して検討したい。

問 神湊地区でスポーツ観光を活用できないか。

答 宿泊、観光、スポーツの関係者とスポーツコミッションを立ち上げ、フンストップの取り組みを進めていきたい。



市民協働を進める総合計画作りを
市民自治の会／上野 崇之

問 地方自治法改正により総合計画をつくる義務がなくなった現在、第2次宗像市総合計画をつくった狙いとその特色は何か。

答 総合計画は市の将来像とまちづくりの展望を示し、個別計画や事業の基礎となる最上位計画として必要と判断した。特色は、計画策定段階からワークショップなどにより市民の意見を聞き、都市ブランドと合わせて、協働の推進を戦略的取り組みの一つとした点である。

問 地方自治法改正により総合計画をつくる義務がなくなった現在、第2次宗像市総合計画をつくった狙いとその特色は何か。

答 総合計画は市の将来像とまちづくりの展望を示し、個別計画や事業の基礎となる最上位計画として必要と判断した。特色は、計画策定段階からワークショップなどにより市民の意見を聞き、都市ブランドと合わせて、協働の推進を戦略的取り組みの一つとした点である。



ワークショップの様子



公教育「市立小・中学校」に全力を
日本共産党／植木 隆信

問 市は、学校法人博多学園と小中一貫校誘致の協定を結んだ。建設予定地は、市指定の緑地帯であり、上下水道などの整備に税金が投入される。

問 子どもが貧困が問題となっている時期だからこそ、公教育に全力を注ぐべきと考えるがどうか。

答 新たな小中一貫校には、市立小・中学校との共同研究など、さまざまな形で連携を行っていただくよう検討しており、市全体の教育水準が向上すると期待している。学力の格差が生じない

問 市は、学校法人博多学園と小中一貫校誘致の協定を結んだ。建設予定地は、市指定の緑地帯であり、上下水道などの整備に税金が投入される。

問 子どもが貧困が問題となっている時期だからこそ、公教育に全力を注ぐべきと考えるがどうか。

答 新たな小中一貫校には、市立小・中学校との共同研究など、さまざまな形で連携を行っていただくよう検討しており、市全体の教育水準が向上すると期待している。学力の格差が生じない



健康寿命を延ばそう
宗像志政クラブ／伊達 正信

問 城山中学校区域に設置する地域包括支援センターの要となる生活支援コーディネーター（※2）の現状は。

答 28年4月から市全域を対象とする第1層（※3）に1人を配置した。今後は、第2層である日常生活圏域6カ所ごとに配置する予定。

問 散歩の途中で立ち寄れる公園に高齢者向け健康遊具が設置できないか。

答 公共施設アセットマネジメント推進計画に基づき順次更新していく。更新時期については、関

問 係者と協議していく。公園整備の地域間格差を正していく。

問 地域の実情をよく把握し、地域間のバランスのとれた公園整備を進めるべきではないか。

答 地域の実情や住民ニーズを考慮し、地域の特徴にあつた整備を考える必要がある。



歩行者にとっても安心なまちに
ふくおか市民政治ネットワーク／笠井 香奈枝

問 側溝やブロックが浮き上がった歩道の危険箇所を歩行者の立場に立つて把握すべきでは。

答 歩行者目線での現地調査、徒歩によるパトロールなども取り入れる。

問 つまずいて歩きにくいインターロッキング舗装の今後の整備は。

答 車両の乗り入れ部分など傷みの激しい箇所は、景観に配慮したカラー舗装化などを検討する。



傷んだインターロッキング舗装

問 障がい児教育のさらなる充実を

問 障がい児教育へのタブレットの導入について考えは。

答 1校10台程度を、特別支援学級から優先的に導入する予定で作業を進めている。

問 通級指導教室の巡回指導を積極的に導入できないか。

答 県に指導を受けながら、よりよい指導体制に向け、最善の方策を検討する。



地域おこし協力隊で地域活性化を
宗像志政クラブ／神谷 建一

問 協力隊員の配置計画、進捗状況、役割は。

答 赤間地区では、28年11月から赤間宿の情報発信、観光案内ガイドなどを業務内容とし、外国人の地域おこし協力隊員が活動を開始。鐘崎地区では、1月からおさかな大使として、水産加工品の開発や販売促進などを業務内容とし、活動の準備を進めている。大島地区では、特産品の開発などを業務内容とし、2人の協力隊員の募集に向けて地元と協議を進めている。また、むなかた地域

問 農業活性化機構を活動拠点に、就農者支援などの活動についても、現在、募集をかけている状況である。

問 隊員が活動しやすい環境整備への見解は。

答 活動しやすい環境整備に向け、行政も支援していく。



農作業を手伝う様子



民生委員制度の課題改善について
宗像志政クラブ／井上 正文

問 本市の民生委員の定数と欠員の状況は。

答 定数は161人で、欠員は9人である。

問 学校と情報共有を図るために交流の場を持つてはどうか。

答 学校行事に民生委員を招待しており、行事を通じて教職員との交流が図れると考えている。改めて民生委員の役割を周知し、今後何らかの働きかけをしていきたい。

問 民生委員が活動しやすい支援体制と環境づくりに取り組めないか。

答 市が直接支援することには財政面などの課題

問 民生委員の役割を周知し、今後何らかの働きかけをしていきたい。

問 民生委員が活動しやすい支援体制と環境づくりに取り組めないか。

答 市が直接支援することには財政面などの課題



※1 公園オーナーII公園の維持管理のため、また、愛着を持たせるために寄附やボランティアを行うもの。
※2 生活支援コーディネーターII高齢者の生活支援・介護予防サービス提供体制の構築に向けて調整機能を果たす者。
※3 第1層、第2層IIコーデイネーター機能を展開する区域。第1層は市全域、第2層は中学校区域。

※4「むなかた」はむなかたコレクションの略。宗像産商品のPRや、宗像市のファンをつくるために、工芸品の工房、食品製造企業や店が連携して始めた民間のプロジェクト。



金を稼げる地域活性化を 宗像志政クラブ／吉田 剛

問 29年度は世界遺産登録、全国豊かな海づくり大会の開催と重要な年。全市を挙げて成功させ、金を稼ぎ、投資をし、さらに利益をあげる継続的循環をつくるべきと考えられているか。

答 大きなビジネスチャンス地域経済の活性化につなげたい。消費行動を通じて売上増が投資に回れば、好循環を生み、市は潤うと考える。

問 産業振興計画策定時にヒアリングを行った「むなかた」(※4)の認識は。

答 特産品開発への精力



大豆プロジェクトPRチラシ



世界遺産登録への準備は万全か 宗像志政クラブ／森田 卓也

問 世界遺産センター建設の県の協議状況は。

答 現況調査を実施中。スピードを上げるため市から積極的に提案したい。

問 世界遺産センター建設を含む、辺津宮周辺の修景事業を官民連携事業で実施してはどうか。

答 選択肢の一つとして専門的な委員会などをつくりながら、大きなデザインで構成していきたい。

問 辺津宮を訪れる多数の来訪者を地域の活性化にどのように生かすのか。



辺津宮を訪れる多数の来訪者を地域の活性化にどのように生かすのか。



子どもが安全に通える通学路を 宗像志政クラブ／井浦 潤也

問 3年前のデータでは小・中学校通学路の危険箇所のうち、41%が改善困難箇所となっていたが、定期的な見直しと整備の進捗はどうか。

答 毎年8月に見直ししている。27年度から宗像市通学路安全推進会議で協議し、整備を行っている。3年間で209件が対応済み、51件が未解決となっている。

問 未解決箇所の早期対応のために地域との連携強化や、路側帯のグリーンベルト化などの整備を進めるべきでは。

答 地域の方の登下校時の見守りから、危険箇所の情報提供もあつており、安全対策に地域との連携は不可欠である。グリーンベルト化は、即効性があるが、条件により効果が疑われる場合もあり、箇所ごとに調査が必要。

問 その他の質問

答 運動公園の安全対策について



運動公園の安全対策について



存在感のある宗像市を目指して 日本維新の会／岩岡 良

問 私たち、日本維新の会は、地方が国に依存することなく、自立できる姿を目標としている。

問 本市の弱みについての認識は。

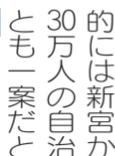
答 人口の伸び率、自主財源比率が低い点である。

問 企業誘致における雇用創出、税収増の効果は。

答 福津市は同心だと考えており、事務組合などは既に一本化した。将来的には、合計で191人の雇用があつた。法人市民税と固定資産税の増加額は年間300万円程度。

問 福津市など近隣自治体との広域行政の考えは。

答 福津市は同心だと考えており、事務組合などは既に一本化した。将来的には、合計で191人の雇用があつた。法人市民税と固定資産税の増加額は年間300万円程度。



安全で質の高い学校施設の整備を 公明党／岡本 陽子

問 市内小学校11校の特別教室に空調設備設置が予定されている。

問 地球温暖化による暑さ、寒さが厳しくなると、児童・生徒が学習に集中できない状況である。児童・生徒が長い時間を過ごす普通教室に空調設備設置が必要ではないか。

答 近隣自治体の普通教室に空調設備設置が予定されている。

問 地球温暖化による暑さ、寒さが厳しくなると、児童・生徒が学習に集中できない状況である。児童・生徒が長い時間を過ごす普通教室に空調設備設置が必要ではないか。

答 近隣自治体の普通教室に空調設備設置が予定されている。



市内小学校11校の特別教室に空調設備設置が予定されている。



ふるさと寄附金の取り組み方は 市民連合／福田 昭彦

問 ふるさと寄附金の額が前年同期より大きく伸びているが、増収に対する取り組み方はどのようなものか。

答 配送業務を委託から直営に切り替えて削減した経費分、返礼品のリニューアルや質と量を向上させた。また、多くの方の目に触れる機会を増やすようPRの強化に取り組んできた。

問 ふるさと寄附金を継続的な財源とする仕組みはできているのか。また、今後の取り組み方についてはどのように考えているのか。

答 ふるさと寄附金の継続的な確保、増収に向けての仕組みとして、28年10月から組織体制の強化を行っている。今後は、魅力ある特産品の開発はもちろんだこと、宗像ファンを増やすために、寄附者との有効なコミュニケーションを大事にしていきたい。



ふるさと寄附金ポスター



博多学園の小中一貫校設置問題 公明党／石松 和敏

問 土地の使用貸借や造成を含む小中一貫校設置についての市長の見解は。

答 土地使用の無償・有償は検討中。土地測量、分筆などの費用、埋蔵文化財調査や上下水道などのインフラ整備の費用は市が負担する予定で、数千円円と見込んでいる。まず地元へ説明し理解を得たい。

問 学園のホームページに「宗像市に土地を提供してもらえらることになった」と記載があり、寄附金の使途には土地の購入費の記載はない。27年1

問 学園のホームページに「宗像市に土地を提供してもらえらることになった」と記載があり、寄附金の使途には土地の購入費の記載はない。27年1



小中一貫校設置予定の市有地に無償貸借などについて



子育てしやすい街へ更なる支援を 日本共産党／新留 久味子

問 28年度、認定こども園を増設。しかし待機児童は解消できていない。

問 今後の見通しは。

答 31年度までに届出保育施設2園の許可や幼稚園の認定こども園化などにより定員を増。10月から保育士などへの家賃補助を開始し、保育士確保を進めており、待機児童は解消の見込みである。

問 認可保育所に入れない場合、保育料が高い届出保育施設を利用することになる。市独自の支援策を検討できないか。

答 料金的な格差などがあつた場合、保育料が高い届出保育施設を利用することになる。市独自の支援策を検討できないか。



認可保育所に入れない場合、保育料が高い届出保育施設を利用することになる。



地域医療の今後と国保広域化 日本共産党／末吉 孝

問 県が策定している地域医療構想は医療圏ごとに入院のベッド数を削減し、患者を在宅医療へ移行させるもの。在宅医療の体制整備は十分なのか。

問 医師会から対応が厳しいのではという意見も出ている。市長会などで必要な意見や要望を挙げなどしたい。

問 医師会から対応が厳しいのではという意見も出ている。市長会などで必要な意見や要望を挙げなどしたい。

問 医師会から対応が厳しいのではという意見も出ている。市長会などで必要な意見や要望を挙げなどしたい。



医師会から対応が厳しいのではという意見も出ている。



高齢者が安心できる街へ 公明党／岡本 陽子

問 就労のためのシルバー人材センターなどとの連携、交通弱者対策は。

問 現条例では3億円の国保基金を国保税引き下げのために使えない。使えるよう改正すべきではないか。

答 保険事業を円滑に運用するため、引き続き基金を保有する。条例改正の必要はないと考える。

問 現条例では3億円の国保基金を国保税引き下げのために使えない。使えるよう改正すべきではないか。

答 保険事業を円滑に運用するため、引き続き基金を保有する。条例改正の必要はないと考える。



現条例では3億円の国保基金を国保税引き下げのために使えない。

提出議案と議決結果

12月定例会で審議し、承認、可決した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

Table with 2 columns: 議案名 (Proposal Name) and 内容 (Content). Rows include: 福岡県大島港大島海洋体験施設の指定管理者の指定, 宗像市正助ふるさと村の指定管理者の指定, 宗像市農産物直販施設の指定管理者の指定, 平成28年度宗像市一般会計補正予算 (第3号).

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○: 賛成した人 ◆: 反対した人)】

Table with 15 columns for council members (岩岡良, 上野崇之, etc.) and 2 rows for proposals: 宗像市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例, 宗像市印鑑条例及び宗像市手数料条例の一部を改正する条例.

*花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

私たちが編集します

議会広報編集委員会

議会広報編集委員会のメンバーが新しくなりました。今後も議会の情報をより分かりやすく、より見やすく、読みたくなる議会広報を目指します。



【前列左から】岩岡良副部長、森田卓也部長 【後列左から】小林栄二議員、井浦潤也議員、笠井香奈枝議員、上野崇之議員

意見書

「少人数学級の推進などの定数改善」と「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」を求める意見書 (全員賛成で可決)

(要旨) 子どもが全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、子どもの学ぶ意欲、主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要で、そのための条件整備が不可欠である。以下の2点が実現されるよう強く求める。1、OECD諸国並

みの教育環境を整備するため、児童生徒数30人以下の少人数学級を推進すること。当面は、1学級あたり35人以下を目指すこと。2、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。



Table with 2 columns: 日程 (Schedule) and 内容 (Content). Rows include dates from 24 to 2/27 and various council activities like 本会議, 特別委員会, etc.



市議会のくわしい情報や 議会中継はホームページをご覧ください。



ホームページ QRコード

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ Tel.0940(36)1119

3月定例会の見どころ

- 代表質問と一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
請願の提出締切日は2月20日(月)です。
本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。
施政方針演説
どんな市政運営をしていくのか、市長の演説が行われます。
代表質問
各党派の代表議員が、施政方針に対し質問します。
予算特別委員会
29年度の予算を審査します。

編集後記

このたび、広報編集部長を仰せつかりました。他のメンバーは新人議員たちです。いろいろな新しい視点から、市民のみなさまにとつて分かりやすい広報紙の作成に努めてまいります。新メンバーでつくる広報紙が市民のみなさまから「神(紙)つてる!」と呼ばれる日を楽しみにしています。
議会広報編集委員会 部長 森田 卓也